

3年 社会科

「発見！私たちの暮らし」

毎日、当たり前に行われている買い物。そこには、消費者のニーズに応える様々なお店の販売の工夫があります。しかし、現在では利益を追求することだけではなく、ごみや資源の問題を考えて販売を行うことが、お店にとって欠かせない工夫になっています。この学習では、具体的なコンビニの販売の仕方の変化に目を向けることから、子どもたちが、ごみや資源の問題について自分なりに考え、買い物をはじめ自分の生活を見つめ直し、より良い消費者となる最初の一步を踏み出すことをねらいます。



1. 暮らしを支える買い物

本単元のねらいは、毎日の生活に欠かすことのできない「買い物」について、販売に携わる人々が消費者の多様なニーズに応え、様々な工夫をして仕事をしていることを具体的に考えることである。そして、これからの未来社会に生きる子どもたちにとっては、環境に配慮した販売への理解や、無駄な買い物をしないための態度を養う必要があると考える。社会科学習の始まりとして、環境について考える最初の一步としてこの学習を位置づけたい。

2. より良い「消費者」となるための第一歩

買い物は、家庭生活を支える大切な営みであり、3年生になった子どもたちにとっても、おつかいを頼まれる、お小遣いを使うなど、経験も増えてきている。しかし、大量消費社会に住む子どもたちにとっては、大抵の物が当たり前で買ってしまう生活であるが故に、物を買う時に考えなければならないことや消費者のために店側が行うサービス、環境作りについては目が向いていない。

そこで、今回はコンビニエンスストア（以下コンビニ）を主に取り上げ、コンビニで消費者のために行われている様々なサービスを調べることを活動の軸にする。そして、サービスの宝庫であるコンビニが、「お弁当に箸をつけていない・袋に入れるかどうかを聞く」という事実で矛盾を生み、問題場面を引き起こす。その問題を追求する中で、受けるサービスも消費者しだいで「無駄」になってしまうことがあることに気付かせることができると考える。そして、単元を通して、3年生の子どもなりに、より良い買い物の仕方を実践する力を培うことができると考える。

3. 活動的に楽しく、わかる授業を

3年生らしく、生活経験や調査活動から様々な見方や考え方をもちながら追求し、単元のねらいに到達していくことができるように、以下のように活動構成を図る。

①コンビニのサービスを追え

家の買い物調べから、コンビニの利用が多いことをつかむ。そして、「なぜ、利用が多いのか」を、様々な調査活動から明らかにする。その中から、コンビニが消費者のために様々なサービスを行っていることを捉える。

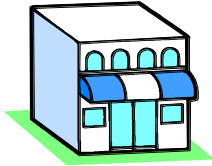
②お弁当に箸がついていないひみつ

コンビニが、お弁当に箸をつけず、品数によっては袋に入れず、必要かどうかを「いちいち聞く」理由について考え合う。箸をつけない理由を追求する中で、無駄を省くことでごみ・資源問題に配慮しようとするお店の意図をとらえる。

③買い物の無駄について考えよう

レベル2の活動で、無駄という視点から、お店のサービスと消費者の関係をとらえた目で、今までの自分の買い物を見つめ直し、より良い買い物の仕方について考える。

■「発見！私たちの暮らし」（11時間）

主な学習活動	指導上のポイント																				
<p>校区にはたくさんのお店があった。</p> <div data-bbox="159 387 775 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家の人はどこで、どんなものを買物しているのかな？</p> </div> <p>【調査活動】インタビュー・レシート集め</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="172 573 451 770" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">よく行くお店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット ・コンビニ ・〇〇商店 </div> <div data-bbox="497 573 777 770" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">よく買うもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料品 ・生活用品 ・めったに買わないものも </div> </div> <p>コンビニはあちこちにある。どの店も同じ？</p> <div data-bbox="159 913 775 1010" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">コンビニエンスストア 人気のひみつをさぐろう！</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="159 1055 461 1301" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【商品の多さから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物がたくさん売ってるよ ・お肉や野菜も買えるよ ・すぐ使う物をそろえてるんだ </div> <div data-bbox="483 1086 770 1279" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【各種サービスから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や宅配もたのめるよ ・水道や電気、ガス代もはらえる </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="159 1529 477 1709" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【店独自のサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのソフトも買えるよ ・お兄ちゃんがCD買ってたよ </div> <div data-bbox="501 1529 775 1709" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場がとめやすいね ・危ない時に逃げ込めるんだよ </div> </div> <div data-bbox="159 1765 775 1899" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>コンビニでは お客さんのために、たくさんのサービスや、 買いやすい店作りをしているんだね</p> </div>	<p>○既習、「学校の周りの様子」の単元で作成した校区地図などから、身近な地域にあるお店を想起させていく。</p> <p>○プライバシーの問題もあるので、学年便りなどで、保護者に協力を求める連絡をするとよい。</p> <p>○1週間ほど調べさせ、その結果を集計し子どもたちに提示する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>よく行くお店</th> <th></th> <th>よく買うもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>コンビニエンスストア</td> <td>1</td> <td>食べ物</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>スーパーマーケット</td> <td>2</td> <td>飲み物</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>〇〇商店</td> <td>3</td> <td>ティッシュ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ホームセンター</td> <td>4</td> <td>くすり</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実際にコンビニエンスストアに見学に行き、調べ活動を行う。店の規模や時間帯によっては、店の迷惑になる場合があるので、あらかじめ店に赴き、依頼・打ち合わせを行う。</p> <p>○調べた事柄を、小さなカードに記入させる。その際、「人気のひみつ」を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品のこと ・買うこと以外のサービスのこと ・店舗の大きさ・周りのこと・・・ <p>などの、視点ごとに分けて書かせる。そして、それらを掲示し、他の子どもがどのような発見をしているのか互いに見合えるようにする。</p> <div data-bbox="874 1715 1370 2011" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">商品</p> <p>毎日、よく買うものはたくさん種類が、分かりやすくなっているよ。お客さんがほしいものを選んでる！</p> </div>		よく行くお店		よく買うもの	1	コンビニエンスストア	1	食べ物	2	スーパーマーケット	2	飲み物	3	〇〇商店	3	ティッシュ	4	ホームセンター	4	くすり
	よく行くお店		よく買うもの																		
1	コンビニエンスストア	1	食べ物																		
2	スーパーマーケット	2	飲み物																		
3	〇〇商店	3	ティッシュ																		
4	ホームセンター	4	くすり																		

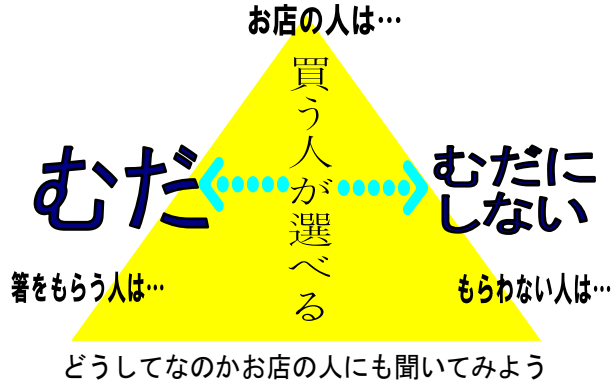
主な学習活動

指導上のポイント



お弁当に箸がついてない！
いちいちレジで聞くように…！？

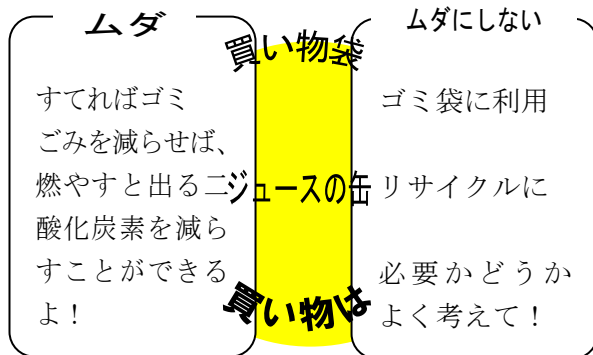
なぜ、箸をつけるかつかないか聞くの？



必要ない人にあげると、無駄になったりごみになったり…。ごみを増やさないため、資源を守るために、いちいち聞くようにしました。

ムダ…買う人によってなったり、ならなかったり

買い物にむだはないか、調べてみよう



気づいていなかったけれど、買い物の中にはむだがいっぱいある。ちょっと考えるだけでむだをなくして、上手な買い物ができるよ。

○実際にお弁当を提示し、箸がついていないことの確認から、生活経験を想起させていく。

○以前は、箸がついていたという事実から、「どうして今は？」と、問いを生む。

○自分の生活経験の中の買い物をする様々な場合・条件と問いを結びつけさせ、見方や考え方を深めさせていく。

○ゲストティーチャーとして招く、VTRに録画して見せる、などの方法で子どもたちが導き出した結論を検証する。



○家庭へのインタビュー活動などを構成し、家庭では、どんなことに気をつけながら買い物をしているか気付かせていく。

○学習後、家庭の協力を得て買い物を実践させ、そのレポートなどを交流するなどして、学習を生活への実践化へ役立たせたい。

■授業例


◆授業のねらい

コンビニでは、なぜ箸が必要かどうか聞くのか、その理由を考えることから、聞くことが、「無駄にならないように」というコンビニの客への配慮になっていることに気付くことができる。


主な学習活動	指導上のポイント
<div data-bbox="193 495 1083 692" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>●前時まで コンビニエンスストア（以下コンビニ）のサービス調べの活動から、各コンビニでは、消費者のことを考え、より買い物がしやすく、買い物以外にも便利な様々なサービスを行っていることをとらえている。</p> </div> <div data-bbox="229 707 1023 837" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>10年前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>サービス満点のコンビニなのに 前は箸がついて売っていたのに どうして？</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>今</p>  </div> </div> <div data-bbox="247 855 1037 949" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、わざわざ箸をつけるかつけないかを聞くの？</p> </div> <div data-bbox="159 974 1125 1691" style="text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;"> <p>＜箸をもらう人＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐ食べる人は、箸がないと困るよ ・工事の人とかは、外で食べるから <p>後で使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちのお母さんは、もらった箸を後から使うよ ・遠足の時には <p>使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使わないでそのまま捨てちゃう人も… ・家でも使わないでたまってるよ </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜お店の人は＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使わない人にあげたら、もったいないよ ・箸代をせつやくできるよ </div> <div style="width: 30%;"> <p>＜箸をもらわない人＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もらったら迷惑な人もいるよ ・家で食べる時は、箸はいらないからむだだよ ・食べ終わったらごみになっちゃうんだよ ・木の数が減っているってお母さんが言ってたよ <p>減らした箸が、紙や他の製品に！</p> </div> </div> <div data-bbox="159 1702 1093 1892" style="margin-top: 20px;"> <p>お店の人の話</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>必要ない人にあげると、無駄になったりごみになったり…。ごみを増やさないうえ、資源を守るために、いちいち聞くようにしました。</p> </div> </div> <div data-bbox="167 1926 1104 2060" style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>以前なら、使わない人も箸をもらっていた…使う人も使わない人もいるから、お客さんのことを考え、無駄・ごみにもならないように箸をつけないようにしたんだ</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に2種類の弁当を提示し、その違いを明らかにする。 ・前時までの見方や考え方とのずれや、10年前と今の違いから問いを生む。 ・子どもの見方や考え方を、客と店の立場や様々な買い物の場合に分けて板書する。 <p>○実際に招く、VTRで見せるなどの方法で、お店の人の話しを聞き、子どもの見方や考え方を確かめる。</p>

■発展的な学習のアイデア

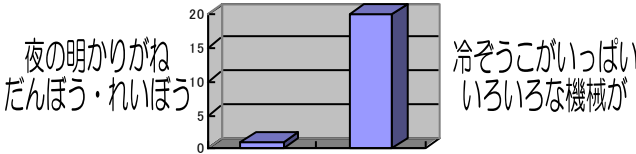


◆探そう！環境に優しいお店の取り組み（3時間）

主な学習活動	指導上のポイント
<p>○お店見学を、「お店の中にあるリサイクルを探そう」という目的で行わせる。</p> <p>各回収ボックス レジ袋不要運動</p>  <p>○見学で見つけた取り組みから、買い物をこれからどのようにしていけばよいか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の見学は、お店で働く人の工夫という視点で行われる。よい品・売り場・品揃え・値段など、消費者のニーズに応える様々な工夫を見学やインタビューを通して明らかにする場である。 それに対し、この見学は単元の最後に行い、売るだけではない店の工夫を環境に優しいという視点で見つけさせる。 ・調べたことをまとめるだけでなく、家庭の買い物において、自分でも「ちょっと」できることはないかを具体的に話し合わせる。

◆地球に優しいマークコレクション（2時間）

主な学習活動	指導上のポイント
<p>○身の回りの様々な製品の中から、「地球に優しい」製品探しをする。</p>  <p>○見つけたマークの名前と意味をまとめて発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に身近な家庭や学校の中にあるものから探させるようにし、その多さを実感させる。 ・画用紙に意味と内容をまとめるなどして、学校の廊下に掲示し、学習の成果を他の児童へも広げる。

◆コンビニの省エネ（3時間…2時間+見学の中で1時間）

主な学習活動	指導上のポイント
<p>○グラフからコンビニエンスストアの電気代の多さに気付き、その理由を考える。</p> <p>ひと月のコンビニの電気代は25ばい！何にそんなに？</p>  <p>夜の明かりがね だんぼう・れいぼう</p> <p>冷そうこが いっぱい いろいろな機械が</p> <p>コンビニでは、電気をせつやくしていないのかな？店長さんに聞いてみよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・算数で学習した棒グラフを提示し、読み取りから、一般家庭との大きな違いに気付かせる。 ・電気代のかかる理由を、見学や生活経験を基にして考えさせる。
 <p>○電気代のかからない蛍光灯や冷蔵庫を使っています。</p> <p>○高圧電流という、特別なものを使っています。</p> <p>！それから、ビニール袋もお客さんに聞いてから渡しています。</p>  <p>省エネパックの室外機 照明器具にLEDを採用する実験を実施 IH式に変更し省エネを実現したおでんウォーマー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の見学とは違う視点の「節電」で見学をさせるようにする。 ・2度の見学が、お店に迷惑を掛けるようであれば、インタビューを録画するなどの方法も考えられる。 <p>※各コンビニにおける環境への取り組み</p> <p>○ローソン http://www.lawson.co.jp/company/activity/index.html</p> <p>○セブンイレブン http://www.sej.co.jp/corp/social/</p> <p>○サンクス http://www.circleksunkus.jp/company/activity/environment.html</p>
<p>ビニール袋があるかどうか、なぜいちいち聞くの？</p> <p>必要ないお客さん ムダをなくす かかる・へるビニール代 ビニール材料</p> <p>はしと同じだ。ムダをなくしているんだね</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・箸についての学習を想起させつつ、ビニール袋の特性からも、考えを引き出す。